

と云ふ故に此等ノ解雇せしむるは今後一層右等會ト提携し
社会運動ヲ存せしむるハナリト述バ之ニ對シ鈴本ノ發言ニ
近目申シ此等ニ催テ今人ノ爲メに思ふ所アリト云フコトハ決シ解
散セリ

脱退理由

一時融合的の氣勢ヲ見セタル社会主義ノ運動ト労働組合運
動トが再び袂ヲ分クノ由ナキニ至リタルハ社会運動上甚ク遺憾
トスル所ナリトモ少クモ我等ノ同去タルハ社会主義者其
一ハ單ナル感情問題ニ走り動モスルハ社会主義ヲ否定シ
組合ノ結束力ヲ鈍カスル等彼等同志ト相提携シ去来カ
ル概合ヲ與ヘタル事例アリ現ニ本ノ足尾銅山問題罷業
ノ時ニ余ハ我々社会主義者諸君ノ上ニ此等ノ労働者ノ力ナ

サルヲ自覺シタルハ又「メーデー」ニ於テ諸君ノ動作其
ニ於テハ亦ハナリ社会主義者ハ一轉ニ「ボルト」ニシテ「キ
價」向フ由ナリ其又ハ「價」有テナリ實際運動ニ向テハ價
ナキ結果ヲ生ク事明カナリ徒ラ破壞ノ聲ヲ聞キテ其ノ
甚ク社会運動ノ指方ナル方格ノ手段ニシテ現在ノ訓練意
識ナキ我々諸君階級ノ労働者階級ニ對シ自裁ヲ招
致スル事ト思フ突極ノ生産者解放ヲ爲スル社会運動ノ
爲メ一人モ多ク同志ヲ糾合シ正々向々次進テ主義ニ執着シ
テ此等最右ノ目的ニ達スル事カ我等ノ主義者ノ人自覺力
ノ主張ナリト思フ此ノ意味ニ於テ此ノ闘争線ヲ履キ彼等
ノ攻撃ヲ予期シテ脱会ヲナスモノナリ

山石川労働會 S S 會